

事務所名	県南	学校名	平泉町立長島小学校	TEL	0191 - 46 - 2203
------	----	-----	-----------	-----	------------------

## 授業改善による学力向上への取組

### 1 ねらい

全国学力・学習状況調査の結果から明らかになった課題の克服のために、日々の授業の改善を中心とした取組をとおして、学力の向上を図る。

### 2 具体的な実践

#### (1) 校内研究会における全国学調の問題分析と改善計画（5月30日）

##### ア 6年生担任による事前分析

校内研究会に向けて、事前に6年生担任による問題分析を行った。「校内採点結果による解答傾向の分析」「担任が実際に問題を解いてみての感想」「6年生までに育てたい力」について簡単な資料を準備した上で本研究会を行った。

##### イ 問題分析の進め方

- (ア) 国語、算数の2つのグループに分かれ、全国学調の問題を解く。
- (イ) 問題を解いてみて感じたことの交流（6年担任は事前分析を行っているため、両方のグループをわたりながら、各学年での指導の重点について意見を出しながら参加する。）
- (ウ) グループごとの発表（国語、算数を共有）
- (エ) 6年担任から本校の課題、補充計画等についての説明と質疑。
- (オ) 校長から

#### (2) 授業改善の視点を生かした授業実践

##### ア 問題分析から明らかになった授業改善のための視点

授業改善の視点	授業実践
① 自分の考えをもたせること	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自力解決の時間の保証</li> <li>・自分の考えをノートに書かせる活動</li> <li>・自分の考えを整理させるためのグループの活用</li> <li>・要点をつかんで読む指導</li> </ul>
② 自分自身で説明すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の考えを伝える場の設定</li> <li>・言葉、数で伝えることを大切にした指導</li> <li>・文で語る（話す）ことを重点にした授業</li> </ul>
③ 主体的に学び合い、高め合うこと	<ul style="list-style-type: none"> <li>・みんなで考えを出し合い、よりよいものを導き出すことを意図した授業</li> <li>・友だちの考えに自分の考えをつけたす活動</li> </ul>
④ 授業を支える取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・朝学習での補充指導（各学年の基礎的な知識・技能の定着）</li> <li>・聞く・話す指導（友だちの話を真剣に聞く態度、相手意識をもって話すこと）</li> <li>・読書指導の充実</li> <li>・家庭学習との連動（例：授業→家庭学習→授業のサンドイッチ型学習）</li> <li>・評価を生かした指導（到達度が低い内容は付箋をつけて次の学年に生かす）</li> </ul>

##### イ 授業改善のための実践

(ア) 9月24日（火）

2年生 算数「三角形と四角形」三角形の弁別について、定義を使って説明する活動

3年生 算数「かけ算の筆算」3つの数の乗法について自分の解き方を式に表す活動

(イ) 11月7日（木）

1年生 算数「ひきざん」減減法についてブロック操作を式、言葉に表し伝える活動

5年生 算数「三角形と四角形の面積」台形の求積について考えを出し合い学び合う活動

### 3 成果

授業で、思考力、判断力、表現力の育成に重点的に取り組んできたことで、これまでやや弱点であると考えていた活用力が徐々に伸び、学力向上につながっています。

#### <担当指導主事から>

【平泉町教育委員会 指導主事 藤島 洋介】

長島小学校は、単に数値を上げるための取組ではなく、授業改善を軸に「基礎的な知識・技能」「思考力、判断力、表現力」「学習意欲」の学力の3要素を確かなものとして身につけた子どもの育成を目指した学力向上の取組を、日々の授業実践をとおして、学校一丸となって進めています。

Plan

Do

Check

実態分析

Action

視点の整理

授業改善

学力向上

全国学調の1か月後には全員で分析

分析から明らかになった視点を整理・共有

視点を意識した授業実践

思考力・判断力・表現力の育成

